

平成24年10月31日

国立大学法人神戸大学長

福田 秀 樹

学位授与の取消し及び学位記の返還について（談話）

このたび、本学が授与した博士の学位に不正行為が判明したため、学位の取消し及び学位記を返還させるという、前例のない事態が生じました。学位を授与する高等教育機関として、このような問題が発生したことは極めて遺憾であります。

改めて言うまでもなく、他者の論文や著作物等を無断で使用し、さらに、それを自らの研究業績のように装う行為は絶対にあってはならないことです。

研究をめぐる不正行為は、一義的には研究者・学生個人の倫理に関わる問題です。しかしながら大学院教育の充実に力を注いできた神戸大学にとって、今回の問題は、自らの教育指導や学位審査の在り方に対し、厳しく反省を迫られるものであると考えています。

今回の事態によって損なわれた神戸大学の学位に対する社会的信頼を回復するため、教員一人ひとりが学生に対するきめ細やかな教育指導を一層充実させるとともに不正行為の再発防止に向け、全学的な取組を行っていきます。